



今年も残り少なくなってきました。今年は何冊の本を読むことができたでしょうか。冬休みはクリスマスやお正月など楽しみな行事も多いですね。冬休みの計画の中にぜひ読書も入れてみましょう。

【図書館利用にいてのお知らせ】

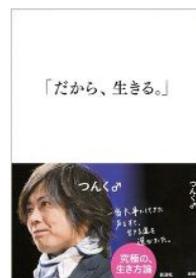
12月23日～1月7日まで図書室を閉館します。
図書を借りたい人は、早めに貸出し手続きを済ませてください。



●新着図書のお知らせ

『だから、生きる』(つんく)

歌手、音楽プロデューサーとして大成功を収める著者を突然襲った「喉頭癌」という病は、一番大事にしてきた声を奪い去った…。本書では、声帯摘出に至るまでの壮絶な日々、闘病を支えてくれた家族のこと、平坦ではなかった歌手人生、そして、声を失って歩き始めたばかりの新しい人生について—そのすべてを赤裸々に綴っている。どんな逆境をも肯定し、迷いながらも前を向いて進む姿勢は、どんな境遇の人にも、明日を生きる力を与えてくれる。



『フレンチの本、ひとり分からちゃんとおいしい』(平野由希子)

冷蔵庫の中にある身近な食材を使ってフライパンなど調理器具ひとつで、好きな分だけ作れるお手軽フレンチレシピ。不要な工程を省き、おいしくするコツだけをしっかり解説。とっておきのひと皿が完成！



『地雷ではなく花をください』、

『続・地雷ではなく花をくださいサニー、カンボジアへ』(葉祥明)

今、地球上に1億1000万個の地雷が埋められ、1日に約70人が犠牲になっている。こんな恐ろしい兵器を取り除き、かわりに花を植えることができればどんなにすばらしいことだろう。本当の平和を取り戻すために…。この絵本1冊で、10平方メートルの地雷原をクリアな土地にすることができる。全・英訳付。“地雷”撤去キャンペーン絵本。



*今回購入した絵本は、先日芸術鑑賞会で行われた演劇「地雷探知犬ニーナ」制作のきっかけとなった絵本です。絵本ではサニーちゃんといううさぎが地雷の現実、カンボジアでの地雷除去について教えてください。興味のある人はぜひ読んでみてください。

●寄贈図書のお知らせ



『人魚の眠る家』(東野圭吾)作家デビュー 30 周年記念作品。

『ソウルメイト』(馳星周)思わず涙こぼれる人間と犬を巡る 7 つの物語。

『大絵画展』(望月諒子)第 14 回日本ミステリー文学大賞新人賞受賞。

『勇者たちへの伝言』(増山実)数々のメディアで紹介された感動の人間ドラマ。

